

その他の小売業における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	車両からタイヤを外すためジャッキアップしてボルトを外し、タイヤを外そうとした時にジャッキが突然落ち、ナットの差し込まれた穴に入れていた人差し指の末節をはさみ骨折した。	23	1～9
1	18～19	バイク走行中風が強く、トンネルから出た際、風に煽られて左側のガードレールに車体が接触した。体勢を立て直そうと右に体重移動した際、勢い余って反対車線の歩道まで転倒した。	17	—
1	18～19	配膳車を介護用リフトに積み込む作業中、配膳車のストッパーをかけるため、配膳車の下に手を入れて作業をしている時、作業が終了する前にリフトを操作してしまい、リフトとドア枠の間に右腕を挟まれた。	64	10～29
1	16～17	弁当の配達の為、車を運転中、新規お客様のお宅を探していた所、住宅街の行き止まりの道になり、Uターンしようとしてアクセルを踏みすぎハンドル操作が追いつかず、住宅壁に激突し、左手を骨折した。	62	30～49
1	11～12	店舗駐車場入り口付近にて、軽自動車で駐車場に入ろうとして、駐車場入り口右側のバリカーに衝突した。ハンドルを切る動作が甘かった為、首の捻挫とバリカーの破損を負った。	22	10～29
1	8～9	子店舗と納め先病院へ配達のため、公用車の軽ワゴン車で向かい、配達を終了して帰る途中、国道で上り車線を走行していたとき、左カーブに差し掛かるところでブレーキをかけたが、路面凍結のためスリップし、対向車線へはみ出し、対向車のトラックと衝突し、その後、死亡が確認された。	58	10～29
2	6～7	二車線道路で、食材の配達途中によそ見をして、中心の縁石に乗り上げてしまい、	20	—

		車が横転した。		
2	0~1	社用車で客先に向かう途中の道路を走行中、携帯電話のナビ機能の画面を見ようと下を向いた。顔を上げたら連なっていた金属ポールが目の前にあり、数本なぎ倒し、個人宅の敷地の塀にぶつかり車が止まった。その衝撃で右腕をぶつけ、骨折と診断された。	23	10 ~ 29
2	12~13	営業車で納品の途中、緩い左カーブにて先行車両が右折するため停車し、そこに直進する形で先行車両右後部に衝突して対向車線を走ってきた相手車両運転席側後方側面に衝突して停車した。当方車両フロント部分大破の衝撃によりエアバッグが作動し、エアバッグに顔面を強打した。その際、目（眼球）に傷がついた。	22	—
2	16~17	交差点で車で配達する為に仕事中、交差点手前で信号待ちをしていると後から乗用車に追突された。その衝撃により、頸椎を痛める。ワンボックスカーは右部後ろを破損した。	63	—
2	18~19	メニューを配布している際、投函が終わり転回しようとしたところ、二輪がぬかるみにはまりバランスを崩し、転倒した。転倒した際、車体と地面に左足を挟まれ、左足甲を骨折した。	23	—
2	9~10	仕入れのため、コンビニエンスストアに行って駐車場から出ようと後退したが、大雨で視界が悪くポールがあることに気付かず追突してしまい、首と腰を怪我してしまった。	24	—
2	14~15	当方交通整理の行われていない丁字路を直進中、相手二輪が減速せず左折をして当方正面と衝突した。当方先方二輪を回避していたため、左方に設置されていたアーチ型車止めと衝突して転倒した。	24	10 ~ 29
2	18~19	店舗間の移動で、本店から2号店に移動する際、道路を横断しようとした時に、バイクと接触し、負傷した。	54	10 ~ 29
2	13~14	社有車に乗り、顧客宅へ向かう途中（運転中）、車内にある書類を確認したところ、他のファイルがハンドルに引っ掛かり操縦不能に陥り、電柱に衝突し、左足甲を骨折（楔状骨折）する。	42	1~ 9

3	10~11	ガスの開閉栓業務を行うため顧客先へ向かう際、路上をバイクにて走行中、前方の路肩に駐車していた車の横をすり抜けた。その際、当該車の陰に歩行者が見えたので咄嗟に避けようとブレーキをかけ、バランスを崩し転倒した。	26	100 ~ 299
3	22~23	ピザを配達中、信号赤のため停車中、先方は停止線をはみ出していたため、左折車との接触を危惧し、当方に気付かず先方が後退し、当方と衝突した。当方は左側に転倒し、右足首捻挫と腰を打撲した。	21	10 ~ 29
3	10~11	オートバイの点検のため、センタースタンドを掛けた際、腰に痛みがはしった。	26	1~ 9
3	14~15	カーテン取り付けのため、同僚が運転する箱バン（軽自動車）に同乗し、運転手が入口看板をわき見していたため、車が車道左の縁石に乗り上げて暴走し、数メートル先の街灯のポールに激突して大破し、組んでいた左足を骨折した。	36	1~ 9
3	14~15	営業およびカーテン取り付けのため、箱バン（軽自動車）に同僚を同乗させて、運転中に入口看板をわき見していたため、車が車道左の縁石に乗り上げて暴走し、数メートル先の街灯のポールに激突して大破し、左肋骨等を骨折した。	71	1~ 9
3	11~12	駐車場で、次のお客に会うため電話をかけていたとき、後の荷物を取ろうとして、座席の肩口の方から左腕を伸ばした。もう少しで届きそうだったので、振り返って思い切り体を伸ばしたところ、左の腰部に座席の肩口が入り込み、激痛がはしった。	45	1~ 9
3	11~12	営業業務にて運転中、信号のある交差点にて、自車は赤信号で停止中に、信号が青になった直後に後方の相手車から追突され負傷した。	60	10 ~ 29
3	22~23	業務を終了し、自宅へ帰宅しようと営業所の駐車場に停めていた原付バイクのエンジンをかけ、1~2回軽くアクセルを握り状態を確認後、前進する為に再びアクセルを握った際、急に前輪が上がった為、バランスを取ろうとしたところ、益々アクセルを吹かす状況となり、バランスを崩し転倒した。	60	10 ~ 29
	19~	三輪付バイクで配達中、信号のない交差点に進入しようとしたところ、相手方が一時停止を無視して交差点内に進入した。当方は交差点進入前に減速およびミラー		10

4	20	確認を行うが相手方無灯火での走行であったため、交差点進入後に気がついて急ブレーキをかけるも避けきれず、当方左前、相手方左後方に接触し転倒した。相手方は転倒しなかったためそのまま走りぬげ、その場から去ってしまった。	25	～ 29
4	16～ 17	配達へ向かう途中、片側1車線見通しの良い道路で、前方にタクシーが停車していたため右に避けようと後方を確認した所、右車線に気をとられ前を向いた時には停車していたタクシーが想像よりも接近しており、ブレーキが間に合わず追突してしまった。	33	～ 29
4	8～9	自宅から客先へ業務命令により直行するため自動車で走行中、信号のない見晴らしの良い交差点を直進していたところ、右方向から相手車が直進してきて衝突した。道路の状況は、こちら側が片道2車線の優先道路であり、相手側は1車線で一時停止標識があった。	61	～ 29
4	21～ 22	職場から業務命令により部品を取りにいき直帰する途中、前方走行中のタクシーが急ブレーキをかけたため、回避しようとした際にバイクが転倒し、右足がバイクに挟まり、3カ所を複雑骨折した。	38	
4	19～ 20	バイクを運転して、ピザの配達途中、バス停の片側1車線の道路において、バス停（バスカットあり）に停まっているバスの横を通過しているとき、自車を右横から追い越そうとした相手車が自車のハンドルに接触したため転倒した。	18	～ 29
5	19～ 20	営業車にて移動中、道路を走行していた際に前方不注意により車線をはみ出し、前方のポールに衝突した。衝突した営業車は360度回転し、運転者本人は衝撃により右手首、右肩を負傷した。尚、他者（他車）との接触はなく、同乗者もいなかった。	52	1～ 9
5	15～ 16	業務中、交差点を右折しようとしたところ、右折の途中で対向車とぶつかる。車両の左側面に相手側の車が突っ込んだ状況で、事故当時は対向車側に右折しようとしている車があり、右側の視界が悪かった。	19	～ 9
5	13～ 14	当方ピザの配達中、センターラインのない狭路を直進中、先方四輪車が路外より発進をしてきて当方に接触し、当方二輪車に足を挟まれた。	46	～ 29

5	19～ 20	片側2車線の道路の第一車線を走行中、右レーンを走行していたタクシーが左に進路変更をしてきた為、急制動をして右側に転倒した。タクシーとの接触はなく、相手詳細は不明である。	22	10 ～ 29
5	9～ 10	信号の無い交差点を通過中、左方向道路より相手の車両が通過し、左側面にぶつかった。	59	30 ～ 49
5	19～ 20	店舗駐車場で車を運転中、右折をしてきた車に後ろから当てられ、首・肩・背中・腰を負傷した。	50	100 ～ 299
5	17～ 18	当日は夕立があり、本人は配達に出たが雨がひどかったので少し休んでから店へ帰るところだった。（その時はまだ雨が降っていた）バイク50cc（原動機付自転車）を運転して右折するとき、真南から北に向かってくるバイクと当たり事故になった。なお、本人には事故後の記憶がない。	21	1～ 9
5	12～ 13	得意先より同じ市内にある次の得意先へ車にて移動中、左側より小動物が突然飛び出してきて道路を横切ったため、小動物を避けようとハンドルを切ったところ道路中央分離帯に車が乗り上げ、車が横転し腰を強打し骨折した。	25	—
6	21～ 22	配達からの帰り、乗っていたバイクのフロントブレーキが掛かり、リアブレーキを掛けたが、バランスを崩し転倒した。	24	1～ 9
6	19～ 20	店内ペット用品売場の商品整理中に、レジ応援に向かう途中、急いで戻るため走っている時に足をひねり転倒し、右膝を負傷した。	20	10 ～ 29
6	21～ 22	三輪付バイクに乗って配達中、道幅6mずつの一時停止の無い十字路で、当方直進、相手方大型バイクは右側から直進であった。右側に家があり、双方とも相手の存在に気が付かずに衝突し、双方ともに転倒してしまった。	21	10 ～ 29
6	3～4	仕入れのため市場に向かうためトラックを運転中、交差点で右折信号待ちをしていた際、右折信号が出たのでトラックを発進させた時、直進してきた乗用車と衝突し、トラックの車外へ放り出された。	40	1～ 9

6	17~ 18	配達帰り、信号のない交差点へ直進にて進入し、右から直進してきた乗用車の右後ドア付近に接触し転倒した。尚、交差点進入時は徐行しており、一旦停止しなかった。	18 ~ 29	10 ~ 29
6	14~ 15	交差点過ぎの中央分離帯に衝突した。商品の搬送業務が終了し、東から西向きに走行中に運転を誤り、事故となった。	68 ~ 29	10 ~ 29
7	16~17	走行中、交差点で青信号のため交差点に進入したところ、左側から赤信号にもかかわらず進入してきた相手の車がこちらへ突っ込んできて衝突した。	48 ~ 99	50 ~ 99
7	15~16	社用車を運転中に停車していた車に衝突をして、骨折してしまった。	72	1~ 9
7	11~12	工業団地配水管布設工事（その1）において水道工事中、給水ホースを持っていた時に、水圧が強くかかりホースを持ったまま1m近く飛ばされてしまい、止めてあったダンプの角で強打した。	20 ~ 29	10 ~ 29
7	14~15	バス車内清掃を行う際、運転席の横窓を開け、メインスイッチをONにし、前方ドア開閉スイッチを「開」にしたが、ドアは自動に開かなかったため、前方ドア前に移動し手で開けようとしたところ、ドアが急に自動で開き、左手の甲をドアに強打した。	46 ~ 499	300 ~ 499
7	13~14	当日午後、配達で歩道の無い道路を走行していた時、暑さのためふらついてしまい、緩やかなカーブに沿った縁石にタイヤが接触、バランスを崩して左側塀にぶつかった後、右側に転倒してしまい、負傷した。	28 ~ 29	10 ~ 29
7	12~13	荷物を引き取りに行くためトラックを運転中、信号のある交差点を直進していた時対向車線の右折車に衝突され受傷した。	45	1~ 9
7	13~14	お客様へ訪問するために道路脇に車を止めていたが、お客様が不在であったため、車に戻り出発の準備をしていたところ、突然強い衝撃を受け、車のハンドルに右目付近を強く打ちつけた。外に出て確認したところ、車の左後方に相手の車がぶつかった。	23 ~ 49	30 ~ 49

7	6~7	当店本店から本社へ乗用車にて同僚と従業員送迎用の車を取りに行き当店へ戻るため、送迎用の車に同僚が乗り乗用車に本人が乗って戻る途中道路を走行中、対向車線の車と衝突し負傷した。	21	30 ~ 49
7	12~13	トンネル内で、バイクで寿司配達中に、前の車輛が停車したことに気付くのが遅れ追突した。その際、前の車輛に顔からぶつかり、あご骨折し、歯を損傷した。 (上前歯2本、下前歯4本)	16	10 ~ 29
7	22~23	配達帰り路面電車のレールに乗り上げスリップし、電柱に衝突した。	20	10 ~ 29
7	18~19	配達業務をしている時、不注意により反対車線に越えて相手の車にぶつかった。相手の過失はない。	38	10 ~ 29
7	14~ 15	三輪付バイクで配達中の往路にて、当方停車中に前方車両がバックをしてきたため、クラクションを鳴らすも間に合わず、当方のフロントカウルと相手方のリヤバンパーが衝突した。	29	10 ~ 29
7	10~ 11	配達の運転中、大雨でスリップしたため看板基礎支柱に衝突した（目撃者の証言による）。	0	1~ 9
7	10~ 11	弊社運営のカフェで販売するパンを運搬するため、時速50km程度で走行中、反対車線側から出ようとする車があった。見送られると思い、通り過ぎようとしたとき、その車が急に出て来て、それを避けて横転した（ぶつかりはしなかった）。相手方は、当方が来ていないと思い込み、飛び出したことを認めている。	34	300 ~ 499
7	12~ 13	営業車両（軽自動車）にて納品先へ向かう途中、交差点を直進しようか曲がろうか迷っているうちに、信号を見落として交差点に進入してしまい、左側から来た車の右側面に衝突してしまった。	58	50 ~ 99
7	14~ 15	当社店舗にて、ピザの配達のためバイクで出発したとき、店舗の前の道路で右へ曲がろうとしたところ、ハンドル操作を誤り、その場でバイクごと倒れ、右足を負傷した。	20	1~ 9

7	10～ 11	業務終了後の帰社途中、直線道路を走行中に、脇道から左折にて進入してきた車がセンターラインを越えて来たため、避けきれずに正面衝突した。	53	10 ～ 29
7	20～ 21	お客様にピザを配達後、店舗に帰る途中、交差点近くの二車線目をバイクで走行中、相手車両が中央分離帯を越えて右折してきたので、回避できず、被災者は相手車両の前方フロント部分に接触し、車両の下敷きになり、そのまま引きずられた。その際、右股関節脱臼骨折、右大腿骨骨折の怪我を負った。	32	10 ～ 29
9	10～ 11	Y字路交差点で赤信号のため停車中、後続車両に追突された。後続車両のドライバーがアクセルとブレーキを踏み間違えたことによる被害。	47	10 ～ 29
9	17～ 18	店の作業場で発生、お客様の車のオイルエレメント確認中、ファンベルトに手を巻き込まれた。エンジン始動中のファンベルトに手を入れた為である。	42	10 ～ 29
9	7～8	売店事務所前で支配人と打ち合わせしていたところ、夜勤食用の弁当箱を回収し食堂へ運び入れるため駐車していた無人の車が坂道を下ってきて、その車に撥ねられた。	53	10 ～ 29
9	14～ 15	宝くじ売場にて、営業中に売場後方左側に自動車が衝突。加害者は売場真後ろの駐車スペースに駐車する際に、ブレーキとアクセルを踏み間違えて事故になったもの。被災者は、イスに座り、斜め後ろを向いていた時の衝突であった為、衝撃を受けた際に首、肩、腰等の痛みや痺れ等の負傷をしたものである。	41	50 ～ 99
9	14～ 15	病院前の横断歩道でサイクルベース店から、車で移動している時に横断歩道のみ信号で、赤信号停車時にこちらは全く安全かつ有害な状態になく前方の信号を見落としした車に後ろから追突された。	40	10 ～ 29
9	7～8	第一現場に到着し作業に着手、次の訪問先宅前の道路（幅員約2mの荒れた舗装道路の路肩から30cm程のところ）に二輪を停車し作業を実施。作業完了後、出発すべく二輪に跨った際にバランスを崩し、右方向に約30cm下の畑へ二輪ごと転落した、落下時に右膝を打ち付け、二輪の下敷きになった際に左腕を挟み、しびれて動かなかった。	54	50 ～ 99

9	15～ 16	営業所内事業所2ヶ所に食材を配送して戻る途中、下り坂のゆるやかなカーブでブレーキをかけたら車のコントロール不能となり車が左右に振られながら会社横の駐車場の車にあたり、90度反転し運転席側から会社に激突した。	55	10 ～ 29
9	9～ 10	得意先へ向かう途中の高速道路を走行中、カーブで路面が雨でスリップしたため、当社営業車が横転し事故になった、周囲に他の車輦は無く自損事故でしたが、車輦は廃車となり、本人は首、肩、腰を強打し、各所むちうち症になった。	30	1～ 9
9	9～ 10	同僚（上司）の運転する営業車に同乗、横断歩道手前で前方車両が、歩行者横断のために停車したのに従い、自車も停車したところ、前方不注意の後続車に追突され負傷した。	19	1～ 9
10	14～ 15	お客様に来年のカレンダーを配り終えた後、帰るために車に乗り込み道幅の狭い所で方向転換をしようとハンドルを切りながら前進と後進を繰り返していたところ、アクセルとブレーキを踏み間違え、勢いがついたまま段差約1m下の地面に落下し、前方にあった木に衝突、車内に挟まれ腰を強打した。	62	1～ 9
10	12～ 13	当方ピザの配達中、先方に一時停止のある4交差での直進車同士の出会い頭事故。当方30km/h程度で進入、先方は40km/h程で一時停止せず進入し、当方の車体後部に衝突。当方は右側に転倒。	21	10 ～ 29
10	13～ 14	営業車を止め、右側後部のスライドドアを開けて商品の積み降し作業をしていた。その際にスライドドアが閉まってきて、左ひじを痛打した。	46	1～ 9
10	15～ 16	被災者は、バイクにて弁当配達業務のため、時速20キロで交差点付近の下り坂を走行中、前方の自動車のブレーキランプが点灯したため、被災者もブレーキをかけたところ、前輪がロックしたような状態となりスリップし、右側にバイクごと転倒し負傷した。前輪ブレーキを強くかけたことが原因と思われる。被災当時、雨で路面が濡れていた。配達用バイクは、ミニカー登録のためヘルメットの着用義務はなく未装帽であった。	46	10 ～ 29
10	20～ 21	原付自転車にてお客様宅へ配達途中、堺にある見通しの良い点滅信号のある交差点において、（当方は黄点滅、相手方赤点滅）当方は左方向から進入してきた相手方（乗用車）に気付いたためスピードを緩め道路中央よりに走行していたが、相手方	24	10 ～ 29

		が当方に気付かず衝突し受傷した。		
10	17～ 18	被災者と他の従業員が営業車に乗り、ドアが閉まったのを確認し、運転者が営業車を動かしてすぐに、被災者が半ドアに気づき、ドアを開けた。その際、被災者が車から落ちたため、後部座席の被災者の隣に座っていた同僚が叫んだので、車が止まり、被災者に向け寄ると意識はあったが、頭を打っていたために救急車を呼び、病院へ運んでもらい検査の結果、脳挫傷との診断を受ける。	61	1～ 9
11	15～ 16	信号機のない十字路交差点で、社用車にて仕入れた商品を店舗へ運搬するため、被害者が優先直進道路を走行している時に、一時不停止の軽自動車に衝突され車が横転したため、全身打撲となった。	45	50 ～ 99
11	13～ 14	当方、ピザの宅配中、片側一車線の道路を原付で直進していた。当方前方不注意のため、道路左側の縁石に後輪が当たり、バランスを崩し、縁石の上の歩道から民家の門に激突した。当方歩道から車道に戻った後、縁石で転倒した。	25	10 ～ 29
11	22～ 23	当方原付でピザを配達中、黄色センターラインの貫通した片側一車線の道路を右折した。先方原付二輪がセンターラインをオーバーして後方から追い越した際、当方と接触し当方が転倒した。	19	10 ～ 29
11	15～ 16	片側一車線の道路にて、営業先である病院へ向かっている途中、反対車線にはみ出し対向車線を走行中の10tトレーラーに正面衝突した。右腕橈骨骨折・背骨骨折・腰部打撲を負った。	31	1～ 9
11	14～ 15	一時停止をし、横断歩道で左右確認して前に出たら、右後に相手の方が当たって来られた。	66	10 ～ 29
11	19～ 20	ピザの宅配を終え店舗への帰店途中に、（先方は北から南へ直進、当方は西から東へ走行）交差点内で出合い頭の接触事故、接触の反動によりバイクより投げ飛ばされ、頭部と体を地面に打ちつけた。	17	10 ～ 29
11	15～ 16	車で運転中、不慣れな道であったため、誤ってガードレールに衝突した。その時は特に自覚症状は無かったが、翌日腰が痛くなり、病院に行った。	63	10 ～ 29

12	20~21	高速道路に入る為、JC方面へ左折し、交差点を抜けた後（信号）、200m程度進んだ辺りで、前の車が停車していたにもかかわらず、脇見をしていた為に、そのまま追突をした。	48	1~ 9
12	13~14	三輪付バイクで配達中の復路にて、信号のある交差点を左折しようとしたところ、雨天だったこともありブレーキをかけた際にタイヤが滑ってしまい、左側に転倒してしまった。	17	10 ~ 29
12	14~15	営業で訪問先を出て、その先に駐車していた営業車に戻るために、道路を歩いていた時、右側から来た加害者運転の車に轢かれ、右足のすねを骨折した。ぶつかるまで、相手車には気付かなかった。	55	10 ~ 29
12	10~11	営業活動中、右側が見通しの悪い交差点で、交差車両確認のため、段階停止の2段階目の停止をした際、後方から来た車両に追突された。	50	100 ~ 299
12	16~17	現場の作業終了後、社用車で店舗に帰社しようとしたところ、車の前にあった2段積みブロックに気がつかず発進して（時速3km程）、衝突し、同乗した従業員が首が痛いと訴えた。当日に受診した結果、首の骨に異常はない（骨折していない）ことが確認された。	42	1~ 9
12	11~12	配達中、中央線のない緩やかなカーブにて、速度20kmで左側を走行していたが、相手の乗用車がカーブの膨らみで真ん中を走行してきたことにより、正面衝突した。	22	30 ~ 49
12	14~15	路上にて、自販機配達助手の業務中、トラックの車道側のスライドドアを開けて、積荷である飲料商品をピッキングおよび荷卸し作業をしていた。通常通りトラックの車道側でピッキング伝票を見ながら作業していたところ、賃走中のタクシーが客を降車させようとして車線を割って入り、タクシーのサイドミラーが左腰部から右臀部にぶつかり負傷した。	46	500 ~ 999
12	11~12	店舗より販売応援先の店へ車で移動中、前方不注意でセンターラインへ接近したため、対向車に接触し、ハンドル操作を誤り、対向車線の後続車へ衝突し、左手首・胸部・膝を負傷した。	22	1~ 9

12	18~19	原付バイクにて宅配の帰りに、自車が側道から横断しようとした際に、自車の右側から来た直進車に接触した。	18 ~ 29	10
----	-------	--	---------------	----

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html